

浦安とみおか川柳会

六月例会結果

日時： 令和4年6月14日(火)
 出席者： 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、
 長谷川智、三浦みちえ、光永ひかる、
 森山裕子、山岸順、山口しだれ、山口昇柳

講師： 佐藤青樹

点数
 講師
 推奨
 課題「ばれる」互選 講評*佐藤青樹

8 悪友が身ぐるみはがす披露宴 順

「身ぐるみはがす」がちよっと気になります
 参考：悪友が祝辞でばらす熱い秘話

6 賞で知るサバを読んでた時の女 和昭

こういう状態の時の女性がいるのでしょうか。下七音？

4 おままと我が家の会話すべてばれ みちえ

絵が見え、面白くできました

片思い日記帳だけ知っている 裕子

片思いの切ない思いを日記帳に書いた(ばらした)のですね

突然に干支を聞かれて歳がばれ みちえ

絵が見える、一読明快の句

寝言からばれたか妻の薄笑い 裕子

絵が見え、面白く出来た句

箸使いお澄まししても里が知れ 和昭

下五の「里が知れ」で決まった句

3 墓場までだまし続ける覚悟あり 勝

「ばらさない」になっている。何をだまし続けるのか分からない

参考：つまみ食い死んでも口にせぬつもり

おめでたがばれてしまったローヒール 裕子

いつものハイヒールを履かなくなったのでばれたのでしょうか

フラーデーすっぱ抜きます忍ぶ恋 ひかる

一読明快の句

女優なら剥がしはしない化けの皮 和昭

句意はわかりますが、リズム感を勘案し

参考：女優なら化けの皮など剥がさない

2 ままごとに我が家の内緒漏れい出て ひかる

4点句と同じ絵が見え、面白くできています。下五に工夫を

美人すぎるやっぱりばれた喉仏 順

句意はわかりますが、リズム感を勘案し

参考：喉仏だけは美女だと言わせない

寝たふりをして待つ子等のクリスマス みちえ

絵が見える、一読明快の句

1 露の嘘へ国民気づく日を望む しだれ

同感の句ですが

参考：プーチンの民が目覚める日を望み

一字一句まねしてばれたカンニング 順

一読明快の句ですが、リズム感を勘案し

参考：カンニングそっくりまねて叱られる

うっかりと寝言も言えず口テープ ひかる

この句は「ばらさない」でしょうか。口テープは造語？

暴かれて深い海こそ恐いところ 昇柳

科学番組などで見る深海艇による深海の様子を詠ったもの？

参考：深海の恐さを暴くサイエンス

ばれてても知らぬふりして話聞く 宣子

句意は分かりますが

参考：午前様野暮を言い訳聞いてやり

記念日を忘れた訳がもろわかり 智

何の「記念日」か、「忘れた訳」も作者のみ知っているのでは

海上保安庁書類そろえば管理なの 昇柳

時節を読んで、一読明快の句

手が震え君の話の裏とれる 宣子

手が震えているのは、君それとも私でしょうか

参考：震えつつウツいう君の裏がとれ

課題「底力」二人選 光永ひかる選

秀		客	
伝統校勝負の機微を知りつくす	和昭	核の世へNOを叫べる被爆国	裕子
日本まだ輝く力あるはずだ	しだれ	10球目粘りサヨナラホームラン	勝
やらせれば続けて取れたパーフェクト	和昭	努力賞地味だが光る底力	裕子
贈り物にまだデパートの包装紙	順	馬の足やと射止めた主役の座	みちえ
五十年遣り繰りだけは上手くなり	みちえ	終章を満ちて生き抜く底力	しだれ
きな臭くなると九条出番です	順	ホームストレッチ入ってからのごぼう抜き	和昭
		抜いた草イヒヒヒヒと生えてくる	宣子
		バーゲンの時だけ無痛四十肩	
		ライバルに闘志燃やして磨く技	
		身籠って母性に宿る底力	

課題「底力」二人選 山口昇柳

秀		客	
伝統校勝負の機微を知りつくす	和昭	核の世へNOを叫べる被爆国	裕子
贈り物にまだデパートの包装紙	順	やらせれば続けて取れたパーフェクト	和昭
ライバルに闘志燃やして磨く技	宣子	日本まだ輝く力あるはずだ	しだれ
抜いた草イヒヒヒヒヒと生えてくる	宣子	きな臭くなると九条出番です	順
馬の足やと射止めた主役の座	みちえ	10球目粘りサヨナラホームラン	勝
バーゲンの時だけ無痛四十肩	ひかる	五十年遣り繰りだけは上手くなり	みちえ
五十年遣り繰りだけは上手くなり	みちえ	ホームストレッチ入ってからのごぼう抜き	和昭
リニアでは無人操作の合せ技		心込めひたむき歌うグッドジョブ	
大谷がホームラン打ちグッドジョブ			

自由吟 山岸 順選

秀		客	
ハイ笑顔今日も鏡が合図する	ひかる	猛々しく草の根ちから雨上がり	宣子
合唱の鍛える音で無駄はない	昇柳	花ゆれて見渡す先に千の風	ひかる
同化して今更マスク外せない	和昭	つけるより外す勇気のいるマスク	みちえ
知床の海に止まない涙雨	裕子		

秀		客	
人生を狂わされたか誤送金	智	今日よりも若くなってる夢の中	宣子
いつ見ても脇役似合うかすみ草	勝	ご褒美のアイス目当てのスニーカー	みちえ
映像が黙って語る戦の愚	裕子	晩年を煮込み不足の角だらけ	しだれ
子の自立妻も一緒に出て行った		プーチンの指差す場所は蟻地獄	
満腹なら味は二の次ワンコイン			

例会のお知らせ	日時 令和4年8月9日(火) 13:00~16:00	「犬吠」6月号 掲載会員句	侵攻が昭和の闇を掘り起こす(みちえ)
	場所 富岡公民館		来ぬバスを桜吹雪の中で待つ(宣子)
	課題 「シンプル」互選 :3句		新緑の初めへ戻る心地好さ(しだれ)
	「切ない」二人選 :3句		火花散るすんでのところで妻の勝ち(昇柳)
	自由吟 :3句		神はどう裁くのだろう侵攻を(裕子)
	<浦安川柳大会案内>		残された時間紡いで編む自伝(和昭)
	令和4年7月16日(土)浦安市民プラザ		消しゴムの跡が見られる立志伝(順)
			子は巣立ち妻と二人で道の旅(勝)

川柳いろいろ

没句

互選句（ばれる）

ゴミの中菓子の袋を見つけれられ
 ・ネズミ取り呼吸検知器に逃げ損ね
 目をそらし「僕じゃないよ」へ嘘ばれる
 ばればれの夫の嘘に妻寝言
 文春に夜の行状暴露され
 大物を釣り上げばらけ肉に化け

一人選句（底力）

けんか売る態度みせつつ逃げ帰る
 三度目の復活目指す元総理
 泣いてる子片方の目で母親く
 反発も笑顔で接す底力
 万人の心に響く「ありがとう」
 命懸け愛国心に神宿れ
 大好きな気持ち擡げるストーカー
 五十年ゆるぎなき妻庭を掃く
 プロレスラー仮面を脱いで鬼となる
 底力出すとき出さず最下位に
 遣り繰りは昭和生まれの底力

自由句

愚痴るより感謝の方が気分良い
 そろそろとまだが葛藤たび準備
 散歩中マスク外して深呼吸
 老いの坂一年ごとにきつくなる
 うっかりと平均寿命早米寿
 「方丈記」苛つく心おちつかず
 検査まつ料理番組今は毒
 ご乱心誰が諫めるプーチン氏
 親のイフ心配される側となり
 インフルとコロナ・ワクチン押さえ込む
 記念日を忘れて妻が反り返る
 薫風を吸ってストレス吐いてゆく
 悪口を言わぬためにもするマスク
 コロナにはミサイル装備役立たず

川柳の理論と実践

新家完司

洒落や言葉遊びは別の道である

・なぜ洒落を使つてはいけないか

洒落とは「言葉の同音を利用した気のきいた文句」
 馱洒落とは「つまらない洒落」のこと。
 現代川柳では避けられている。考えるというプロセス
 を経ぬ押しつけられた結論はそれ以上に発展しない。

① 語呂合わせの面白みを狙っているだけ
 ② ウケを狙っているだけ
 ③ いわゆる「一発芸」であり再読する気にならない
 ④ にんげんの喜びや哀しみが現れていない
 ⑤ 作者の想いや独自の見解が入っていない
 ⑥ 川柳を狂句に戻してはならない
 ⑦ 言葉の遊びは文芸でない

・川柳と洒落を比較すると発想や作り方に大きな違いある
 ・自分の体験したことや体感したことを率直に述べる
 ・対象を見つめ発見した事柄に対し独自の見解を述べる
 がポイント。にんげんとは何ぞやを詠うことである。

自粛すべき言葉

・表現の自由は保障されている 言葉に敏感であれ
 言葉の暴力は腕力より深く人を傷つけることがある。
 「一般に使用されていても自分には許さない」
 「低俗な流行語を安易に受け入れない」ウザイ、キモイ
 ・質の悪い言葉を見抜く 新しく作られた言葉だけでなく
 古い因習から生まれた言葉、身体の特徴を表す言葉に注意
 ・放送自粛用語 出版自粛用語
 ・差別的な言葉、侮蔑的な言葉、卑猥な言葉を規制
 ・自由には責任が伴う しつかりとした倫理観と誠に基づき、
 他者を傷つける作品は作らないという責任である

避けるべきこと

・個人攻撃・特定の企業への攻撃・特定の政党への攻撃
 ・特定の宗教への攻撃・二者択一の世界・猥褻な表現
 ・表現は自由、挑戦するのも自由
 個人の名誉を傷つけない、結社の自由、信仰の自由を
 侵さないこと 読者に不快感を抱かせないことを
 前提にしてください。

鑑賞 犬吠賞 平成二十八年度

大賞 藤川朝生

いつもある野菜に慣れて句忘れ

準賞 岩間直美 五十嵐幸夢

望まないほうへも進歩する世界

断捨離へ最後に残る自負自慢

新人賞 塩見和昭

出る杭の女が見せる底力

佳作 五点

親と子が敬老会へ招かれる 美土路順子

老醜を晒して歩く影法師 堀江喜代子

はひふへほ笑顔を少し混ぜておく 高田文子

この指に止まれよ蜻蛉寂しいね 林 はな

幸せな海で溺れる事がある 根岸ムベ

四点

うむを言わず後期高齢者にされる 藤井浮島人

どうしよう今が良ければ良しとする 相葉和子

生きる重み誕生月のカレンダー 水谷敏子

妻いつも見えない旗を振っている 竹下圭子

微笑んだ女神に気付くのが遅れ 河田達夫

うっかりと平均寿命越えて生き 山口野凡

働かぬ蟻と働けない格差 塚本康子

今日と明日ちがう日にする好奇心 岩間直美

平凡に暮れて肉じゃが冷やっこ 遠藤夢子

笑つても泣いてもやがて地に還る 福田岩男

蝉しぐれ友と命の話する 高田文子

私利私欲捨てよと他人には言える 藤井浮島人

鉛筆の先で本音が独り言 太田 九

電気代廃炉費用も含まれる 五十嵐幸夢

好奇心広げた傘が重過ぎる 田辺サヨ子

本音吐き静かについてくる孤独 藤井敏江

互選句 課題 「洗う」 令和四年 七月例会

浦安とみおか川柳会

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
定年後最初の役は皿洗い	今は家むかしバイトで皿洗い	クサイ金バハマですすぎアクを抜く	擦り傷は水で洗って赤チンキ	足洗う真面目になった訳じゃない	一日の疲れを流す妻の酌	今日は雨心静かに時過ぎる	老いてなお洗いざらしの似合う人	餃子食べマスクで会話匂わせず	美合唱聞く耳大事まず洗う	洗濯の手間を省いた紙オムツ	讚美歌に心の汚れ白くなる	尻青の洗い流せぬ赤っ恥	土砂降りへ心の憂を放り込む	洗ったシャツ風に吹かれて逃げて行く	墓石が詫びる心に洗われる	願いごと脳へシャワーのリフレッシュ	日常を忘れとび乗るフリーパス
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
						洗濯機壊れ手洗い荒れた手に	胃腸からポリープつまみ保障され	洗っては食べまた洗う総入れ歯	コイン持ち毎週末にランドリー	すすぐたび未練は残る流れ髪	お疲れと夫労わる皿洗い	手を洗い心も洗い恋さらば	新緑のシャワーに邪心洗われる	水滴の輝く苔へハツとする	バスタイム心の砂が流れ行く	髪洗い抜け毛数えて老いを見る	腎臓を薬で洗い元気です